

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立昭和西小学校
(昭和北中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+3.8	+0.5
令和4年度	+0.4	-3.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>71%</u> 全国 <u>67.2%</u> 県 <u>69%</u></p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。(設問1二)【書くこと】(平均正答率29.8%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇活動(書く・読む)の目的を意識し、複数の資料(表・グラフ・文章など)をもとに自分の考えを書く活動を仕組む。 ◎◇情報を整理するときは、必要な情報に印を付けたり、情報と情報を線でつなげるなどして、情報同士の関係性が視覚的に捉えやすくなるように指導する。 ◎◇自分の考えを書くときは、根拠を明確にして書くように指導する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問1二)(第4,5,6学年,2月) 目標50%→結果 4学46%,5学41%,6学年61%</p>
<p>算数</p> <p>本校 <u>63%</u> 全国 <u>62.5%</u> 県 <u>64%</u></p> <p>数と計算 図形 データの活用 変化と関係</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇高さ等しい三角形について、図形を構成する要素に着目し、面積の大小を判断し、その理由を言葉や式を用いて説明することに課題がある。(設問2(4))【図形】(平均正答率15.8%,無解答3.5%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇図形を構成する要素やその要素間の関係に着目させ、図形の定義や性質を繰り返し指導し、習熟を図る。 ◎◇図形を構成する要素やその要素間の関係に着目させ、図形の意味や性質を活用して面積の公式を考える活動を設定する。 ◎◇図形の面積を求めるために、どの部分の長さが必要かを判断する活動を設定し、公式の理解を深める。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問2(4))(第5,6学年,2月) 目標40%→結果 5学69%,6学年70%</p> <p>図形に関する市販テストの問題(全学年,2月) 目標80%→結果 1学年93%,2学年88%,3学年87%,4学年80%,5学86%,6学年88%</p>

【来年度に向けて】

2月の結果を全職員に周知し、本年度の重点課題を改善するための取組を来年度も継続して実施する。
算数科においては学年が上がるにつれ、前学年までのつまづきが複雑化してくるため、課題のある領域の指導方法を校内で共有し、連携を図っていく。
国語科においては、各教科で自分の考えを、根拠を明確にして書いたり、条件に合わせて書いたりさせるなど、多様な書く活動を積極的に取り入れていく。